

島原高校理数科だより

平成 28 年 第 3 号
11月28日(月) 発行

Activities of Science and Mathematics course

1 年生の活動

島原半島巡検

10月26日(水)に理数科1年生40名が島原半島ジオパークの巡検に出かけました。天候にも恵まれ、予定通りに垂木台地、雲仙岳災害記念館、布津・深江断層、龍石海岸、原城跡、口之津公園、早崎海岸、津波見海岸両子岩と世界ジオパークに認定されているものを中心に実地研修を行いました。

最初の垂木台地では、火砕流堆積物から地層の年代がわかることを学習し、生徒一人一人が真剣に地層のスケッチを行いました。噴火前の黒い地面の上に縞模様の火山灰や火砕流堆積物が重なっている様子が印象的でした。

雲仙岳災害記念館で1792年の島原大変の様子を学習後、西有家の龍石海岸で雲仙火山の最下部を見学しました。地層の堆積物から、雲仙火山がどのように成長して現在の姿になったかを学び取ることができました。

早崎海岸では、島原半島で最も古い火山の観察をしました。海岸では噴火口跡も観察することができ、岩塊や溶岩流が見られ400万年前の状態を知ることができることに生徒たちは驚いていました。

最後の加津佐町津波見の両子岩では200万年前の安山岩の採取、観察を行いました。ここでは木の化石がオパール化している石を拾うことができるため、割れ口が美しいあめ色の化石を必死に探し求めていました。

島原半島にある世界的に貴重な環境を学ぶ、すばらしい1日となりました。



龍石海岸で雲仙のどん底が見えているぞ!



上手くいくとオパールも見つかるかも!

2 年生の活動

平成28年度 課題研究中間発表

10月27日(木)、理数科2年生が今年度の課題研究中間発表を行いました。課題研究とは、理数科2年生が4~5人程度のグループに分かれ、理科や数学に関するテーマを自分たちで設定し、1年間かけて研究していくという理数科の特色の中でもメインと言える活動です。この日は、4月から取り組んできた自分たちの研究の進捗状況を発表し、今後の研究に対する意見交換をしたりアドバイスをもらったりしました。今後は3月の本発表に向けて研究を進めていくこととなります。



生徒の発表の様子

《発表テーマ一覧》

- ①「さつまいもの調理法の違いによる全糖量の変化」(化学)
- ②「熊本地震の震度分布の伸びの方向性」(地学)
- ③「垂木台地の植生調査」(植生)
- ④「音声認識について」(物理)
- ⑤「湧水と島原半島 ~湧水に含まれる成分~」(化学)
- ⑥「アリの研究」(生物)
- ⑦「熊本地震の震源の移動と広がりについて」(地学)
- ⑧「空間の敷き詰めについて」(数学)

「中学生対象 島原高校理数科説明会」を実施しました

10月15日(土)、中学生対象の島原高校理数科説明会を開催しました。まず本校教員や現役の理数科生徒による「理数科紹介」を行ったあと、実際に理数科に入学後に行う「地学講座体験(島原半島で見られる石の種類を知ろう)」と「DNAの抽出実験」を行いました。当日は中学生41名、保護者26名、計67名の皆様に参加していただきました。体験講座では理科の面白さに触れ大変盛り上がりました。中学生の皆さん、来年度島原高校理数科でお待ちしております!!



バナナからDNAを抽出中です

《参加した中学生の感想》

- ・普通科と理数科の違いをずっと疑問に思っていたんですが、今日でその疑問はなくなりました。自分が行きたいところが正確に分かったので安心しました。
- ・今回の説明会で理数科に行きたいという気持ちが強くなりました。楽しそうな授業や実習があると知れて良かったです。
- ・とても楽しかったです!頑張って勉強し、理数科に入りたいとより思いました。